

令和2年度長野県森林審議会保全部会 議事録

- 1 日 時 令和2年11月5日(木) 午前10時00分から午後2時30分まで
- 2 場 所 大町合同庁舎101・102号会議室 大町市大町1058-2
(大町市八坂字池尻山548ほかの現地調査を含む)
- 3 出席委員 鈴木啓助(部会長)、北原 曜、斉藤 みどり、富井 俊雄 計4名
- 4 事務局、説明者等
 - (1) 林務部 森林づくり推進課 三澤雅孝、向山繁幸、松原耕治、高橋風鈴
 - (2) 北アルプス地域振興局 林務課 三石和久、栗原信重、畠中陽一、青木瑞季
 - (3) 株式会社藤巻建設
- 5 審議に付した事項 森林法第10条の2第1項の規定による林地開発許可について

6 審議

区 分	発 言 者	内 容
開会 審議の公開	司会	令和2年度長野県森林審議会保全部会の開会を告げる。 本審議会は公開で行う旨を説明する。
あいさつ 審議会の成立 報告	森林づくり推進課	(課長あいさつ) 事務局より本部会定数5名のうち、出席委員は4名であるため、森林法施行細則第12条の規定により、審議会の成立を報告する。
	鈴木部会長	(部会長あいさつ) その後、森林法施行細則第15条の2の規定により議長へ就任する。
議事録署名人 の選出	議長 (鈴木部会長)	森林法施行細則第15条の規定により、議長指名により北原委員、斉藤委員を選出する。
審議	議長 (鈴木部会長)	次第に基づき、「森林法第10条の2第1項の規定による林地開発許可の適否について」を議題とし、審議に入る。
	事務局	審議に先立ち、事務局(林務部)から資料に基づき説明を行う。 ・森林審議会保全部会と保安林制度について、林地開発許可制度について(資料1) ・林地開発許可について(諮問)(資料2)
	司会	現地調査で出された意見に対して、開発行為者からの説明の了解を求め、委員の了解を得る。
	開発行為者	藤巻建設の小泉です。 午前中の現地踏査大変ありがとうございました。現地踏査の中で先生方から様々なご心配事、ご意見を頂戴したこと等につきまして、お時間をいただき、考え方ではありますが、ご説明をさせていただきたいと思っております。 パワーポイントの中で説明させていただきます。 調整池の考え方ですが、現在の設計ですと、このあたりに縦型に調整池を設計しておりますが、これについて現地地形に沿って

<p>審議</p>		<p>ないのではないか、ということですが、私もおっしゃるとおりだと感じましたので、これについては現地地形に合わせてここに現在大きな窪地がありますが、この窪地に沿って調整容量を確保できるような形で調整池を設計し直したいと考えております。</p> <p>また現地のいわゆる土工量については現地地形を生かした中での土工設計ができないかということで、現在地形的にはこのあたりに平場がございます。この下にも平場がございます。ここも土量調整の中で改変をする設計ではありましたが、この地形については、現状の地盤をできるだけ生かした中で、北傾斜については少し改変をしないと、いわゆる雨水等の誘導について困難を極めてしまうので、この辺の北傾斜については少し改変をする中で、できるだけ残せるところは現況地形を生かした再設計をしていきたいと思っております。</p> <p>またここに外周道路、道路特性については全て違いますが、こちらについては林業専用道、こちらについては大町市道ということで現在大町市、また県と調整をしておるところです。やはりこの道路については、それぞれの道路規定がございますが、道路規定の部分を担保しなければならい中で、やはりここは少し造成が必要になってまいります。特にこちらは盛土が予定されているところですが、こちらについても市道、道路規定の中で道路勾配等設定がありますので、これについて最低限準じていかないといけないので、この辺についてはできるだけ盛土は少なくしたいとは思いますが、造成ができればと思っておりますが、こちらからの土量が減った分そうせざるを得ない部分があるので、この高盛土については低減されるとは思いますが、道路規定最低限の部分を担保しながら設計をし直してみたいと思っております。</p> <p>また地域住民の方とのお約束もございまして、この外周道路については、道路として使えるように設定してくれという部分もありますので、あまり急勾配な道路もできないので、その辺を考慮しながらギリギリのところ盛土の設計をしてみたいと思っております。現在の考え方としては、このような方向で再設計をさせていただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上となります。</p>
	<p>司会</p>	<p>事務局からの説明は以上でございます。</p>
	<p>議長 (鈴木部会長)</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただいま事務局から資料に基づきご説明いただきました。また事業者の皆さんからも午前中の現地踏査で課されました意見について、それに対する回答として今ここにお示しいたしました。</p>

審議		委員の皆様、ただいまの説明についてご意見、ご質問がありましたらお願いします。
質問・意見	北原委員	<p>今日の午前中のことについて、早速ご提案をいただきありがとうございます。</p> <p>お伺いしたいのは、調整池へのパネル用地部分からの排水網について、いただいている資料2の33ページによると、それが全く記されていないのですが、それをどのような形でここへ誘導していく水路網になるのでしょうか。</p> <p>33ページの資料で、今回切り盛りを大分減らすということになるかと思いますが、いずれにしてもパネル部分、用地部分からの水、雨水をどのような形で捕捉して、この調整池に誘導していくのか、この辺がよくわかりません。</p> <p>【事務局回答】（開発行為者）</p> <p>参考資料①排水施設計画流量計算書の中の31ページの前に排水系統平面図があります。現在の設計でいくと、排水系統はこのようになっております。</p> <p>今回大分変わろうかと思いますが、いずれにしてもパネルがあり、そのパネルの前あたりに水を受ける水路が入るわけですか？それと調整池に水を入れる方法が設計図から読み取れませんでした。</p> <p>【事務局回答】（開発行為者）</p> <p>基本的にはパネルの前にすべて水路が入るわけではございません。何区画かに分けて排水系統をしている中で、今の設計では真ん中にU字溝を入れて水を誘導する、半分は管理道路のところにU字溝が入って、調整池へ誘導するという設計です。</p> <p>参考資料①31ページの前の図ですと、主に中央の道路の側溝に流す形に集めるわけですね。その水を調整池に入れるわけですか。どうやって入れるのですか。入り口が調整図の設計図にないですね。</p> <p>【事務局回答】（開発行為者）</p> <p>入り口ですね、U字溝の最初のところということですね。調整池の天端に接続するわけですが、それについての詳細な部分はずみません、抜けております。失礼いたしました。</p> <p>【事務局回答】</p> <p>今日はその図面がないので、いただいてから後日改めて委員の方に配布いたしますので、確認していただければと思います。</p> <p>【事務局回答】（開発行為者）</p> <p>調整池の構造図を入れて提出します。</p>

		<p>パネルとU字溝の関係の詳細な図を見せてください。</p> <p>【事務局回答】（開発行為者） 承知いたしました。</p>
	<p>議長 （鈴木部会長）</p>	<p>今の関連ですが、現地踏査の際に指摘させていただいたように、調整池の方向を南北から東西へ変更という話でした。さらに、これも指摘させていただいたように、切土の部分を少し減らして、盛土も減らすとのことでしたが、今の排水の経路については変更がないような高低差を維持したままという理解でよろしいですか。</p> <p>【事務局回答】（開発行為者） できるだけ維持をしたいと思っておりますが、やはり改変部によっては、水を誘導してあげる施設が必要になるかと思っておりますので、それについては臨機に作っていきたいと思っております。おそらく増えるようになるかと思っております。</p> <p>現場で少しお話しした北西部についても予備的な調整池の件は無しで、この1箇所を基本に、全体的には切盛の面積を減らすという、こちらの要望に応じていただいているということですね。</p> <p>【事務局回答】（開発行為者） はい、土工について減らすということです。</p> <p>北東の方もここは盛土をしないと道路の関係で難しいということですか。</p> <p>【事務局回答】（開発行為者） 道路付けが非常に厳しくなるので、そうなると地元の皆様のご要望にそぐわない形になってしまう恐れがあるので、できるだけ勾配によっては下げられるところは下げたいと思っております。あとは災害のないように施工したいと思っております。</p> <p>他にいかがでしょうか。富井委員はいかがでしょうか。</p>
	<p>富井委員</p>	<p>今の報告で、盛土切土それぞれ再検討しながら、できるだけ自然を変えないように業者の方で検討するのであれば、私はそれを信用したいと思います。特にこの地形を見ると、災害が発生する場所ではないといえるのではないかとということと、景観に関しても人目につくような場所でないということを考えると、自然エネルギー、新しいエネルギーについて求めていかざるを得ないのかなと思う。その中でできるだけ切土盛土を少なくして、やっていただくのであれば、私はいいのではないかと思います。</p>

	<p>議長 (鈴木部会長)</p>	<p>齋藤委員はいかがですか。よろしいですか、他にご意見ご質問等ありますか。</p> <p>では私からですが、おそらくこれは間違いというか誤字ではないかと思いますが、資料2の2ページの開発計画区域及び周辺地域の状況で、(1)概況の積雪量380cmとありますが、これは降雪量ではないかと思いますが、3m80cmも積もらないので、降雪だと思います。</p> <p>【事務局回答】 申し訳ございません</p> <p>他にいかがですか。</p>
	<p>北原委員 議長 (鈴木部会長)</p>	<p>この設計では参考資料①で、ソーラーパネルの用地全体については裸地0.9を使っているということですのでよろしいですね。</p> <p>どこかで0.6とかありませんか。</p> <p>【事務局回答】 参考資料①17ページ、開発前のところで0.6というのがあります。</p>
	<p>北原委員</p>	<p>わかりました。あと参考資料①の3ページの下半分ほどの、計画地の雨量強度式について、「松本地方10年を使用した」というのがわかりませんでした。</p> <p>【事務局回答】 先ほどの区域内にU字溝の側溝が400から1000のものが中央と道路際に入るということでしたが、この流量計算を10年確率でやっております。調整池自体は50年確率です。</p>
	<p>議長 (鈴木部会長)</p>	<p>これは10年確率でよろしいのですか。調整池は50年、U字溝は10年ということですか。</p> <p>手引きがそうなっているのですよね。</p> <p>【事務局回答】 確認して、お答えします。 (確認後) 林地開発の手引き(P236)にございまして、U字溝等の排水施設については10年確率を使うとあります。</p>
	<p>北原委員</p>	<p>最初排水施設計画流量計算書でこれがU字溝にどうなるか、読んでも分からなかったもので、なぜここで10年確率が出てくるのかと思ったわけです。ですのできちんとその辺を明記してほしいです。</p>

	<p>【事務局回答】 誠にし訳ございませんでした。資料が分かりづらいので反省すべき点です。</p> <p>参考資料①6ページの水力設計について、粗度係数を0.016にしてますが、これはU字溝の粗度係数ですか。ダイポリンですか。どこかに0.01と出ていました。</p> <p>29ページのダイポリンハウエル管とは違う管ですか？次のページには0.016を使っています。29ページでは粗度係数を0.010、30ページでは0.016を使っています。</p> <p>【事務局回答】（開発行為者） 放流管の計算をしております、中が滑面の製品を使っていますので、0.01の係数を使っております。次ページの0.016というのは、排水管で中が波状管の製品を使っております。</p>
北原委員	<p>参考資料①24ページについて、防災調整池検討書50年で土砂の見積りをしていますが、これを比較修正で1年間で300㎡だから12で割っていますが、実際は集中するのは6月や台風の時期となりますので、実際はこれよりずっと多くなるわけですね。単に12で割るといえるのはいかなものかという気がします。土砂の排出を月1回としていますが、造成当初のころは50mmくらい降ったら見に行くとか、それでも大丈夫なようなら70、80mmで見に行くとか、柔軟的な体制でやっていただきたいと思います。</p> <p>【事務局回答】（開発行為者） ただいま先生のご指摘のとおりでございまして、我々としては基本的にはこの形で決まっていますが、地元も含めお約束している中で当然降雨、台風等予想される場合については、その前後にて定期点検も含めた巡視点検を行って、その都度保守・管理をしていく形で予定しています。特に今回飯山ということもあり、地元における土木の仲間もおりますので、そういう方に近くでお願いし保守・管理等の契約を結んだ中で緊急対応等の予定もしております。</p> <p>協定書の内容の中で4（2）に該当する部分です。</p> <p>結局、何年かに1回というような雨が降ると、土砂もいっぱい出てくるわけで、それを水も出て土砂も出るわけですから油断するとオーバーフローの可能性もあるわけですからきちんと点検をやっていただきたいと思います。</p> <p>【事務局回答】（開発行為者） 承知しました。</p>

	議長 (鈴木部会長)	<p>寒冷積雪地域ですので、春先は当然ながら霜柱もたち表面の土砂も出やすくなり、そのあと雨が降るとかなり危険なので、土地の特性に合わせた管理をお願いできればと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>【事務局回答】(開発行為者) 承知しました。</p>
	富井委員	<p>協定の書面は大町市ではなく、八坂地区の地域づくり協議会と藤巻さんでやっているということですか。</p> <p>【事務局回答】 甲乙というかたちで、藤巻建設さんと地元というかたちで、八坂の地域づくり協議会というのが、旧八坂村の地区の代表者が集まったものでして、ここでの協議会と藤巻さんが協定を結んでいます。さらに県と市がそれに立ち会っているというかたちで作っております。</p>
	北原委員	<p>流末が道路の下で谷に落ちる形になっていますが、あそこも調整池から水が出ていると認められたときは、チェックしていただいてああいった急傾斜と谷頭ですので、道路の方まで崩壊や浸食などが及ばないようにチェックをお願いしたいと思います。</p> <p>【事務局回答】(開発行為者) ありがとうございます。現在地元の専門業者との契約の中に様々な要綱、要素がございまして、そのチェック項目も一つとして放流点のチェック、排水管も含めた送水管等のチェックも入っているの、常に点検をしております。いずれにしても自分たちの施設ですので、我々自身で守っていくということは当然のことですので、地域の迷惑とならないように管理をしておりますのでご安心いただきたいと思います。</p>
	議長 (鈴木部会長)	<p>ほかに質問、ご意見ございませんでしょうか。 無いことを確認。</p>
議案の決定	議長 (鈴木部会長)	<p>他にないようでしたら、お諮りいただいた案件について資料でご説明いただいた件、今朝の午前中からも含め多少修正いただくこともございますが、どういう手続きになるのか、事務局から説明をお願いします。</p>
	事務局	<p>先生方からいただいたご意見を我々がまとめ、それに沿ったかたちで事業者の方を指導していきます。修正できたところで先生方に再度確認いただきたいのですが、その時は全員がよいか、代表してというのがよいか、どちらがよろしいですか。</p>
	議長 (鈴木部会長)	<p>皆さんよろしければ私と北原委員で図面等の説明を受け、それでよろしいかどうかの判断をさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>

	齋藤委員 富井委員	異議なしの発言。
	議長 (鈴木部会長)	ということですので、わたしと北原委員で見させていただいて検討したいと思います。
	事務局	ありがとうございます。それではそのようにいたします。
	議長 (鈴木部会長)	今ご説明いただきましたように、多少修正がございますが、修正いただいた分は私と北原委員で検討し、最終的な審議会での答申ということでは議長に一任いただくということでよろしいでしょうか。
	北原委員 都築委員	異議なしの発言。
	議長 (鈴木部会長)	御異議ありませんので、そのようにさせていただきます。
議事の終了	議長 (鈴木部会長)	それではこれで審議は終了ですので、事務局にお返しします。

区 分	発 言 者	内 容
その他 閉会	司会	鈴木様ありがとうございました。 次第6のその他について、事務局からは特にありませんが、委員の皆様から何かございますか。 ないようですので、本日は長時間にわたり審議いただきましてありがとうございました。それでは以上をもちまして長野県森林審議会保全部会を終了させていただきます。 お気を付けてお帰りください。ありがとうございました。

令和2年11月26日

議事録署名人 北原 曜 印

議事録署名人 齋藤 みどり 印